

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年2月19日 VOL. 52

先進的！ 介護支援専門員が「障害者相談支援の基本姿勢」を学びました

平成30年2月8日(木) 大会議室において、藤枝市介護支援研究会(通称：ケア研)主催の研修会を開催しました。(参加者：75人)



研修会の講師には、特定非営利法人 障害者生活支援センターおのころ島の井出一史理事長をお招きし「**障害者差別解消法条例づくりの取組から共生社会を考える**」をテーマに、本人本位の自立プランについて学びました。

日頃、介護支援専門員(通称：ケアマネ)は、利用者が自立した日常生活を営むことができるようケアマネジメントを行っています。近年は障害者が高齢化してきたり、要介護者の家族に障害をお持ちの人もおり、共生社会を考えることの重要性を実感し、この研修会の企画に繋がりました。

参加者アンケートより抜粋

- 障害者自身が立ち上がり、社会を変えてきた歴史があったことを知ることができてよかった。ケアマネとして**自己選択、自己決定を待つ姿勢**も必要、先々のことを考えて提案しがちだが、**エンパワメント力を引き出す**ことが出来ればと思った。
- 障害者の持っている力を活かして自分らしく生活(自己実現)するために、色々な社会のしくみが進化していることが理解できました。
- 本人が**どういう生活を望んでいるのか**。本人の**ストーリーをしっかりと捉えて、パーソナルを理解**することが基本だということ。ケアマネとしての基本を改めて気付かせていただきました。

口腔ケア技術向上事業(中間報告)



平成28年に完成した
藤枝市口腔ケアマニュアル

尊厳を持って自分らしい生活を送るための実践可能な「食べる」を支える口腔ケアの普及を目的として、介護サービス事業所のスタッフに、口腔ケア技術の向上、口腔内の評価についての研修会を実施しています。本年は「小規模多機能型居宅介護事業所」1事業所、「認知症対応型生活介護事業所(グループホーム)」3事業所に、各4回コースで、**歯科衛生士・理学療法士・言語聴覚士がチームを組んで現場研修**を開催しました。2事業所は半年後の評価まで終了し、「**職員の意識が変わり口腔内の異変に気付くようになった**」「**誤嚥防止のために食事の姿勢や車いすに対する意識が変わった**」などの成果が出ています。

